

(社)日本雪氷学会東北支部

ニュースレター No.46

2009年度東北支部大会の開催案内

2009年度(社)日本雪氷学会東北支部大会(理事会、総会、研究発表会)を、福島大学にて下記の予定で開催いたします。皆様のご参加ならびに研究発表をよろしくご願ひ申し上げます。なお、大会プログラムの詳細については、次のニュースレターでお知らせします。

開催日時：2009年5月8日(金)、9日(土)

開催場所：福島大学理工会議室(総会、研究発表会)

〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地 現地実行責任者：渡邊 明

<http://www.fukushima-u.ac.jp/index.html>

参加費：1,000円(講演資料代を含む)

日 程：5月8日(金) 9:15~10:45 理事会(人文中会議室)
11:00~12:15 総会、授賞式
13:30~14:50 特別講演会
15:00~17:15 研究発表会
18:00~20:00 情報交換会(大学生協)
5月9日(土) 9:15~12:30 研究発表会

出欠確認：別紙様式に記入の上、FAX、郵便、電子メールにてご返信下さい。

総会を欠席される場合は、必ず別紙の委任状をFAX、郵便、電子メール(スキャンしたもの)にて提出してください。

研究発表の申込および講演要旨の提出：

- ・ 提出期限 4月20日(月)必着
- ・ 別紙様式にてFAX、郵便または電子メールにて事務局(山崎)へ提出してください。
- ・ 今回は会場の都合で、原則としてポスター発表は行いません。
- ・ 講演要旨(A4版・1~2ページ)は研究発表当日配布されます。原稿を郵送する際は、封書に【原稿在中】と朱書きをして下さい。電子メールによるpdfファイルを歓迎します。

本原稿の提出：

- ・ 提出期限 5月31日(日)
- ・ 提出先については、後日お知らせいたします。
- ・ 本原稿は「東北の雪と生活」に掲載されます。A4版 camera ready、6ページ以内で作成してください。投稿原稿のフォーマットは別紙を、投稿規程は支部 web サイトをご参照ください(http://www.seppy.org/~tohoku/journal_kiyaku.htm)。原稿の種類(論文、報告、解説、資料、その他)を必ず明記してください。封書には【原稿在中】と朱書き願ひます。講演要旨と同様に、電子メールによるpdfファイルも受け付けます。

各申込・連絡先：〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻流体地球物理学講座 山崎 剛

電話：022-795-5781 FAX：022-795-7758

email：yamaz@wind.geophys.tohoku.ac.jp

情報交換会：会場 福島大学生協

会費 3,000 円

その他：宿泊などは各自でご予約ください

会場案内図



「東北の雪と生活」原稿執筆要項（14p 明朝）

Tohoku Journal of Snow and Life

東北太郎（所属）（12p 明朝）

Please write the English title here.

Tohoku Tarou（10.5pTimesNewRoman）

1. ページ

原稿の長さは原則として、6 ページ以内とします。

2. 原稿

原稿はA4 判の白紙を使用し、ワープロまたはタイプライターを用いてお書きください。上端マージン 25 mm，下端マージン 25 mm，左端マージン 25mm，右端マージン 20 mm，字数は 45 字×45 行，ページの一段組とします。

ただし、この字数で印字できない場合は、文字数や行数を調整してマージンに、はみ出さない様にしてください。原稿はそのままオフセットし、A4 判の大きさに白黒印刷します。

3. 書き出し

第 1 ページは題目を第 1 行から書きだし、1 行あけて勤務先、著者名を中央に揃えて書き、続けて英文題目、英文氏名を書きます。1 行空けて本文を書き出してください。第 2 ページからは第 1 行目から書いてください。

論文題目は明朝 14pt，名前と所属は明朝 12pt，それ以外は 10.5pt のフォントを用い、題目、著者、節題はボールドで強調して下さい。また、ページ番号は印刷しないでください。この案内は執筆要項の様式に従って書いてあります。

4. 図・表・写真

図は鮮明なものにしてください。図表を貼り付ける場合ははがれないようにしっかりと糊付け（セロテープは不可）してください。図説等もきちんと挿入してください。

5. 締切期日

各年度の原稿提出締切は事務局より連絡いたします。遅れた場合は印刷しません。

出席確認 FAX 送信票

連絡先：〒980 - 8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻流体地球物理学講座 山崎 剛
電話：022 - 795 - 5781 FAX：022 - 795 - 7758
email：yamaz@wind.geophys.tohoku.ac.jp

ご氏名： _____

所属・職名 _____

連絡先：〒 _____

電話 _____ FAX _____

email _____

5月8日に開催される上記大会の総会に
出席 欠席 (どちらかに をつけてください)
欠席の場合は委任状をお送り下さい。

5月8日に開催される上記大会の情報交換会(懇親会)に
出席 欠席 (どちらかに をつけてください)
複数名の場合は人数： 人

5月8日～9日に開催される日本雪氷学会東北支部大会の研究発表会で
口頭発表 ポスター発表 (どちらかに をつけてください)

発表課題： _____

発表者： _____

所属： _____

* 「東北の雪と生活」第24号に論文掲載のみ希望の場合、5月31日まで上記連絡先へ原稿をご提出下さい。

切り取り線

委任状

社団法人 日本雪氷学会東北支部
支部長 力石 國男 様

2009年度(社)日本雪氷学会東北支部総会において審議される案件について
_____に委任致します。

2009年 月 日
氏名 _____ 印

積雪観測講習会の開催報告

1. はじめに

本学会東北支部および(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所主催の積雪観測講習会が下記の要領で秋田県立田沢湖スポーツセンターにおいて開催されました。会場は標高約600mの高原地帯であったため、暖冬にもかかわらず、ざらめ雪に混じって、前日積もった新雪や十分な厚さのしまり雪層がありました。参加者は、コンサルタント会社社員4名、スキー場・山岳パトロール隊員2名、大学教員1名、高校教員1名、定年退職者1名、学生5名(うち1名は社会人学生)の計14名で、県別では青森県と岩手県からそれぞれ1人の他は秋田県内からでした。なお、開催後、郵送により参加者にアンケート調査を実施しましたので、その結果もここにご報告します。

日時：2009年2月13日(金)

場所：秋田県立田沢湖スポーツセンター

主催：(社)日本雪氷学会東北支部

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 新庄支所

共催：日本雪工学会北東北支部、秋田雪の会

2. プログラム

- 8:30 受付開始
- 9:00 開会の挨拶
佐藤威(防災科研雪氷防災研究センター新庄支所長)
伊藤驍(日本雪工学会北東北支部長)
- 9:10~10:00 基本学習 佐藤威
- 10:00~11:00 野外実習(積雪断面観察)
- 11:00~12:00 野外実習(積雪データの測定)
- 12:00~12:45 昼食
- 12:45~14:30 室内実習(積雪データの整理)
- 14:30 閉会の挨拶
阿部修(日本雪氷学会東北支部副支部長)

3. 講習内容

基本学習では佐藤講師より、「雪の性質を知る」および「災害時の雪」について講義があり(図1)、その後近くのテニスコートで3つのグループごとに講師による積雪断面観察および受講生自らによる同様の観測が行われました(図2)。観測項目は、雪温、雪質、密度、積雪相当水量および硬度でした(図3)。なお、雪質の観測には20倍の実体顕微鏡を用意しましたが、ルーペよりはるかに見やすく、はじめて参加した受講生の雪質の判別に役立ちました。昼食後は観測データを持ち寄り、図にプロットし(図4)、お互い確認した上で終了となりました。

4. アンケート調査

参加者14名のうち、12名から回答していただきました。以下にその結果をまとめました。

(1)講習会をどこで知りましたか？

ホームページ：1、ニューズレター：1、その他(DMメール/雪工学会/関係者より)：10

(2)内容はどうでしたか？

大変良い：8、ちょうど良い：4、悪い：0

(3)講習会への要望は？

- ・学校で生徒への出前授業や教員等への出前講習会などを行ってほしい。
- ・野外講習の時間をもっと長くしてほしい。
- ・じっくり学習するために日程に余裕がほしい。

(4)日本雪氷学会の活動で希望されることは？

- ・関係者だけでなく一般向けのイベントや活動を行ってほしい。

- ・多雪地での除排雪や融雪の工夫を一般向けに紹介してほしい。
- ・会員が参加できる企画がほしい。

(5)その他

- ・大変有意義で雪を知る良い機会となった。
- ・積雪断面を実際に観測できたので勉強になった。

5.おわりに

職業、年齢が異なる受講生が協力して観測する様子は微笑ましいものでした。その後、早速自分で試しに観測してみたというメールをいただきました。なお、参加はされませんでした。韓国の人からも問い合わせがありました。講師は、伊藤驍（国立秋田工専名誉教授）、佐藤威（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所）、阿部修（同）および沖田圭右（日本地下水開発株式会社地盤環境部調査グループ）が務めました。

阿部修（防災科学技術研究所）



図1 佐藤講師による基本学習



図2 受講生による積雪断面観測



図3 積雪断面の観察



図4 観測データの整理

発行：(社)日本雪氷学会東北支部事務局

発行責任者：庶務幹事・原田鉦一郎

〒982 - 0215 仙台市太白区旗立 2 - 2 - 1 宮城大学食産業学部 環境システム学科

電話 & FAX : 022 - 245 - 1434 email : haradak@myu.ac.jp